アドビ システムズ（株）
141-0032　品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ システムズ、Adobe Flex 2 の提供を開始
次世代 Web アプリケーション構築に革新性と柔軟性を提供

業界のリーダー企業が
リッチインターネットアプリケーションをビジネスに活用

【2006 年 6 月 29 日】
アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg）以下、アドビ システムズ）は、Adobe® Flex 2 製品群と Adobe Flash® Player 9（別途リリースをご覧ください）の提供が開始され、Flex による開発のパワーをすべてのアプリケーション開発者にもたらすため、新しいライセンス モデルを導入すると発表しました。Eclipse をベースとする強力な開発ツール、強固なデータサービス、および無償の Adobe Flex 2 Software Development Kit（SDK）により、アドビ システムズ社はより使いやすく効果的な、リッチ インターネット アプリケーション構築のための新しい環境をデベロッパーに提供します。

Boeing、Dow Jones Indexes、Samsung、および SAP をはじめとするさまざまな業界のリーダー企業は、デスクトップ ソフトウェアのメリットと Web の到達力を組み合わせてより価値の高いユーザ体験を作り出す次世代 Web アプリケーションの開発に、Adobe Flex ソフトウェアと Flash Player を積極的に活用してきました。

Sun Life Financial のソフトウェア エンジニアのクリス カルヘイン（Chris Culhane）氏は、「Adobe Flex 2 によってスタッフが利用するアプリケーション インタフェースの幅と使いやすさを改善することができ、これは弊社の生産性に直接影響をもたらしました。開発側としては、他の環境に比べて開発速度が 2 倍に上がりました。作成するコードの量が減り、また Flex アプリケーションはバックエンドのシステムとシームレスに統合するだけでなく、最終的なアプリケーションのメンテナンスも簡単です」と述べています。

Adobe Flex 2 は、そのリッチで革新的な機能を提供するツールセットのいくつかを無償で提供し、デベロッパーがソフトウェア費用を気にすることとなく、システムのモックアップや、プロトタイプ等の開発を実現することを支援します。無償で配布される Adobe Flex 2 SDK と、Adobe Flex Data Services 2 Express が、こうした環境を実現します。Adobe Flex Data Service 2 Express には、展開するアプリケーション数に制限がある他は、機能的な制限はなく、開発者は RIA 開発に必要な全ての機能を無償で利用することが可能です。

生産性をさらに向上させるためには、アプリケーション開発と UI 設計のための組み込みコントロールとサービス ライブラリを含む、強力な Eclipse ベースの IDE（Integrated Development Environment: 統合開発環境）である Adobe Flex Builder 2 を利用することができます。これと Adobe Flex Data Services 2 を組み合わせることで、リアルタイムのデータ同期機能や、コラボレーション機能を持つアプリケーション開発を、開発者が容易に行えるようにします。

Weight Watchers.com のソフトウェア エンジニアリング担当副社長のデイビッド ディーン（David Dean）氏は、「革新的企業であることを常に誇りとしてきている弊社は、オンライ

ン製品をさらに進化させるために新しい技術の開拓を続けています。Flex では HTML での開発に比べ、よりリッチでダイナミックなユーザ インタフェースを、より短期間のうちに作り出すことができます」と述べています。

以上に加え、Flash Player 9 は、エンタープライズ対応のリッチ インターネット アプリケーションのための、より高度なセキュリティおよび軽量で強力なランタイム環境を提供します。Flash Player 9 では ActionScript 3 と新しい ActionScript Virtual Machine（AVM）を通じて約 10 倍のパフォーマンス向上が実現され、次世代のリッチ インターネット アプリケーションのための理想的なクライアントランタイムとなっています。

パートナー企業は Adobe Flex によって自らの商品やサービスの拡大を図ることができます。SAP AG の Product & Technology Group 担当上席副社長兼ジェネラルマネージャのダグ メリット（Doug Merritt）氏は、「SAP はユーザ体験をさらに改善し、ナレッジ ワーカーの情報アクセスと利用を簡素化し、使用する方法を簡素化し、また SAP ユーザが最も快適な利用環境とインタフェースを利用できるよう、常に改善を継続しています。Flex と Flash に含まれる強固な技術の提供を通じてアドビはこのユーザ体験向上の大きな原動力となっています。Flash Player 9 に導入された機能の強化を、SAP の xApp Analytics を使っておられるお客様に提供できることを非常に喜ばしく思っています。アドビは非常にリッチで使いやすく、またなじみのあるインタフェースを SAP xApp Analytics に提供し、SAP アプリケーションの力を活用すると共に、SAP ユーザの体験改善に貢献しています」と述べています。

Adobe Flex 2 に関して、日本市場ではすでに以下の動きがあります。日本電気株式会社（本社：東京都港区、執行役員社長：矢野 薫）は、NEC システムテクノロジー株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：今泉 澄夫）の支援により、同社の中規模および大規模システム向け統合開発環境「SystemDirector Enterprise」での RIA 開発コンポーネントとして、Adobe Flex 2 の採用を決定しました。SystemDirector Enterprise は、開発方法論（ガイド）、開発基盤（ツール）、サポートサービスの 3 つのレイヤで構成される開発フレームワークで、Adobe Flex 2 は開発基盤の中に位置づけられます。今回、SystemDirector Enterprise で Adobe Flex 2 を採用することにより、開発者は、Java による標準化された開発基盤において、ツール間の連携に多くの工数を費やすことなく、短期間でリッチインターネットアプリケーションを開発することができます。また、Eclipse ベースの開発環境である Adobe Flex Builder 2 の開発者は、新たに Flash ベースのコンテンツデザインに関する技術や開発ツールに習熟していなくても、既に開発したプログラム資産を再利用しつつ、最新の Web アプリケーションを手軽に開発することができます。

株式会社アイ・ティ・フロンティア（本社：東京都中央区、代表取締役社長：井上 準二、以下 アイ・ティ・フロンティア）は、三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島 順彦、以下 三菱商事）において 2006 年末に稼動予定の CASA（海外駐在員事務所会計システム）構築プロジェクトで Adobe Flex 2 が採用されたと発表しました。アイ・ティ・フロンティアは本システムにおいて、構想立案支援からシステム構築・IT マネジメントを行います。三菱商事の CASA は、現行のスタンドアロン型システムから Adobe Flex 2 ベースのリッチクライアント技術の高い操作性、拡張性により、アプリケーションのフロントを統合すると共に、ERP、SCM 等の業務システム間を連携する EAI 等の技術により、バックエンドの統合も実現する Enterprise RIA に再構築することにより、海外 40 拠点以上でのシステム導入業務の軽減、ユーザビリティの大幅な向上、既存システム

での三菱商事バックエンドシステムの活用等の実現を目指しています。また、ネットワークが遮断された状態でも一部機能が利用可能な環境を整備することで通信環境が貧弱な海外拠点での利用にも配慮がなされています。アイ・ティ・フロンティアの Enterprise RIA は Adobe Flex 2 ベースのシステムを構築することで、RIA 技術の利点を最大限に活かし業務アプリケーションのフロントを統合 / 強化すると共に、バックエンドシステム間を SOA/EAI 等の技術で柔軟に統合することにより、本当に使える Web エンタープライズシステムを実現するものです。

また、IT& クリエイタ教育を提供する、学校法人電子学園 日本電子専門学校（所在地 : 東京都新宿区、理事長 : 多 忠和 以下、日本電子専門学校）が、IT 系 Web 総合技術科（2007 年 4 月開設学科、学科概要：http://www.jec.ac.jp/course/it_ele/cw/index.html、カリキュラム詳細：http://www.jec.ac.jp/course/it_ele/cw/curriculum.html）において Adobe Flex 2 を活用して、最先端のリッチインターネットアプリケーション（RIA）構築のための技術を習得するカリキュラムを実施すると発表しました。同カリキュラムでは、広く採用されている Flash テクノロジーを活用したリッチ インターネット アプリケーションに関して、アドビが開発したコースウェアに基づいたカリキュラムが採用されます。またそれに先立ち、2006 年度後期より現行のコンピュータネットワーク科ネットワークプログラマコースにおいて、2 年次のカリキュラム中に「研究授業」として科目：Adobe Flex 2 を設置するとともに、1 年次においてより高度な Flash 技術の習得を行います。日本電子専門学校は 1951 年に創立。コンピュータ、ネットワーク、セキュリティ、Web、CG、アニメーション、ゲーム、デザイン、電子、電気など、昼夜間 33 学科を設置する工業系の総合学園で、卒業生は 9 万名にのぼります。

必要システム構成とサポートされるプラットフォームを含め、Adobe Flex 2 の詳細については以下の URL をご参照ください。
http://www.adobe.com/jp/products/flex

また、デベロッパーが直ちにリッチで表現力に富んだ Web アプリケーションの構築を開始できるよう、アドビ システムズ社はさまざまなオンラインおよび対面による学習リソースを http://www.adobe.com/jp/devnet/ に用意しています。

Adobe Flex 2 参考価格
Adobe Flex 2 製品群※1

□ Adobe Flex Builder 2	64,900 円	
□ Adobe Flex Charting 2	38,900 円	（ダウンロード提供）
□ Adobe Flex Builder 2 with Charting	97,900 円	
■ Adobe Flex Data Services 2 Express ※2	無償	（ダウンロード提供）
■ Adobe Flex Data Services Departmental	780,000 円	
■ Adobe Flex Data Servicies 2 Enterprise	2,600,000 円	

□の製品につきましては、6 月 29 日 (木) よりアドビストア http://www.adobe.com/jp/store/ で取扱を開始します。英語版は受注発注、日本語版は予約受付開始となります。なお、日本語版のパッケージ製品出荷とダウンロード製品提供は 8 月下旬より開始予定です。

※1　Adobe Flex 2 製品群の英語版は 6 月 28 日（水）より提供が開始されました。この英語版では、日本語環境での動作をサポートしています。また、ドキュメントや開発環境のユーザインタフェースを日本語化した日本語版の提供は、今年 8 月末を予定しております。Flex フレームワークとコマンドライン コンパイラを含む Adobe Flex 2 SDK は無償で提供されています。

※2　1 つの CPU 上でアプリケーションを展開することのできる、プロダクション ライセンスを含む Adobe Flex Data Services 2 Express は無償で提供されます。

必要システム構成

Adobe Flex Builder 2

- Intel® Pentium 4 プロセッサ
- Microsoft® Windows® XP（Service Pack 2）、Windows XP Professional、Windows 2000 Server、Windows 2000 Professional、Windows Server™ 2003
- 512MB の RAM（推奨 1GB）
- 300MB の空き容量のあるハードディスク
- Java Virtual Machine：Sun™ 1.4.2、Sun 1.5、IBM® 1.4.2

Adobe Flex Data Services 2

- Microsoft Windows 2000 Server、Windows XP Professional、Windows Server 2003、Red Hat® Enterprise Server 4、SUSE® Linux® Enterprise Server 9（Novell）
- 512MB の RAM（推奨 1GB）
- 400MB の空き容量のあるハードディスク
- Java Virtual Machine：Sun 1.4.2_08（Adobe の Macromedia® JRun™、BEA WebLogic、Apache Tomcat のみ）、BEA Jrockit 1.4.2_08（BEA WebLogic のみ）、IBM1.4.2（IBM WebSphere のみ）
- Application Server：JRun4 Updater6（統合インストールオプションに含まれる）、Apache Tomcat4.1, BEA WebLogic 8.1（SP2）および 9.1、IBM Websphere5.1 および 6.0、JBoss 4.x、Oracle Application Server 10g、SAP NetWeaver6.4、日立 Cosminexus 7、富士通 Interstage Application Server V7

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト http://www.adobe.com/jp/ に掲載されています。